

～ 周辺施設等の状況 ～



- ① 県立加古川医療センター
- ◆ 規模
鉄筋コンクリート造(免震構造)地上6階・地下1階
延床面積 約32,000㎡
- ◆ 病床数 353床
- ◆ 診療科目 25科
内科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、
リハビリテーション科、放射線科、救急科ほか



② 加古川ウェルネスパーク



③ 日岡山公園



④ 東播磨道

加古川市神野用地の土地利用について



兵庫県

加古川市神野用地は、JR加古川駅の北東約4kmに位置し、平成21年11月に県立加古川医療センターが開院するとともに、隣接して東播磨道のランプが開設されました。

兵庫県では、この緑豊かな環境の中に、県立加古川医療センターを核として健康・医療・福祉関連施設が集積し、来訪者と地域住民の交流を促す魅力ある地域づくりを進めています。

～ 加古川市神野用地の概要 ～

◆位置・面積

JR加古川駅から北東へ約4km、JR東加古川駅から北へ約4km、JR神野駅から南東へ約2kmの位置

面積	地区全体	病院用地	道路用地	他(原野・山林等)
	30.9ha	6.2ha	1.6ha	23.1ha

◆交通条件

<道路交通>

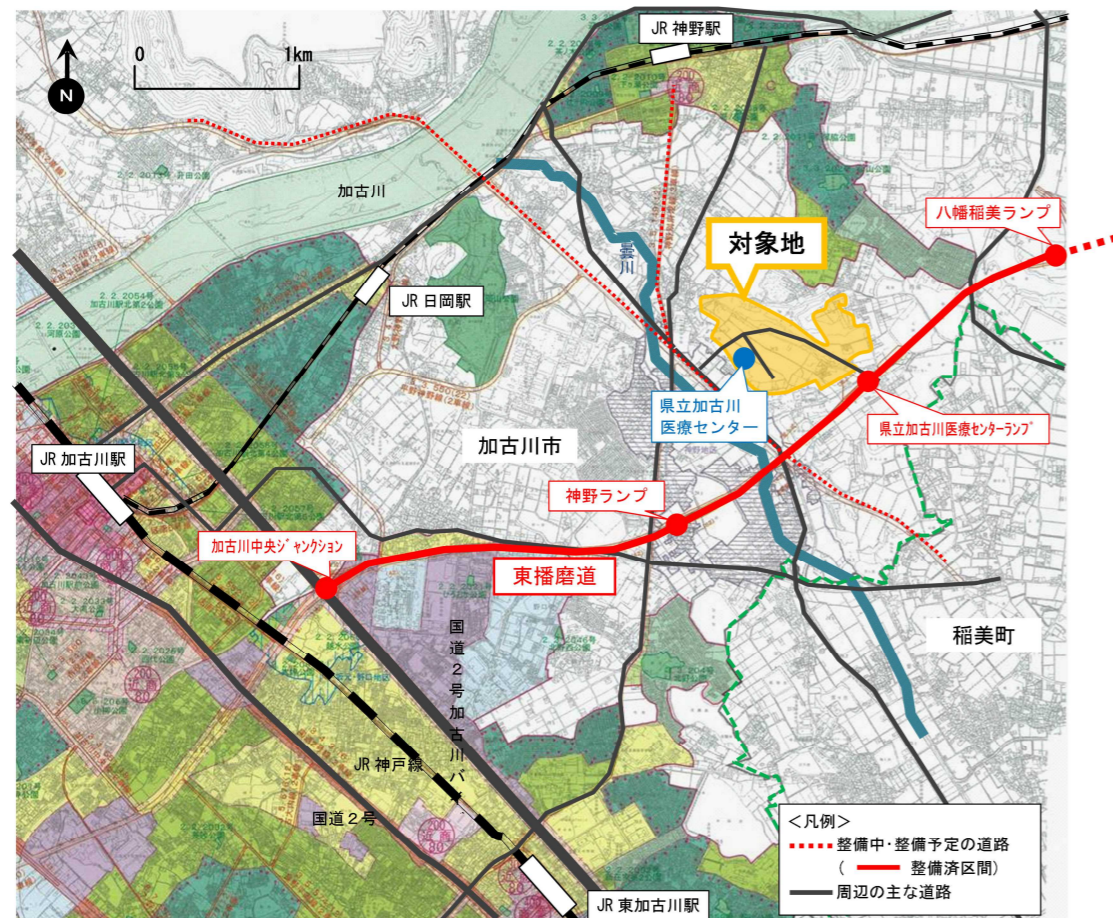
- ・阪神・姫路方面から国道2号線または加古川バイパス、山陽自動車道から加古川小野線または八幡別府線経由でアクセスが可能
- ・東播磨道(4車線地域高規格道路)の県立加古川医療センターランプに近接
- ・東播磨道は、第1期事業の加古川バイパスから八幡稲美ランプ間が平成25年度に完成

<公共交通>

- ・JRの加古川駅から最寄りの神野駅まで、加古川線で約8分
- ・JR加古川駅北口から加古川医療センターまで、神姫バスで約15分
- ・JR東加古川駅利用のときは、新在家バス停から加古川医療センターまで、神姫バスで約12分

◆対象地の状況

- ・対象地周辺は平坦であるが、南側・東側が高くなる段丘状の地形
- ・市街化調整区域にあることから、地区計画制度等を活用して開発



健康拠点構想 [加古川市神野用地の土地利用構想]

《上位計画による神野地区の位置づけ》

- 自然・田園環境と調和した計画的な土地利用の実現
- 東播磨道のランプに隣接する利便性を生かした拠点性のある機能の導入

※上位計画：東播都市計画区域マスタープラン
加古川市総合計画・加古川市都市計画マスタープラン

《基本コンセプト》

県立加古川医療センターを中心に“健康”をテーマとした拠点づくり

健康・医療機能の集積したまち

- ・東播磨地域の先進的な広域拠点
- ・周辺施設との連携

交流と賑わいのあるまち

- ・健康をテーマとした交流の促進
- ・地域住民との協働による賑わいづくり

緑豊かな潤いのあるまち

- ・地域の景観や自然環境の活用
- ・郊外立地のメリットの享受

《拠点の持つ機能の配置》

